助成者	鈴木　和信	活動期間	2023年4月～2026年3月（予定）　**活動中**
所属機関	日本大学	職　名	国際関係学部　教授

フィジー野球・ソフトボール協会による植林・地域環境保全活動を通じた環境教育と気候変動対策の推進

～スポーツを通じた環境意識向上と人材育成の実践～

【活動場所】 フィジー　スバ

【事業目的】 開発途上国の様々な開発課題の解決に向け「スポーツを通じた開発」に注目が集まるが、環境保全の事例は少ない。フィジーでは気候変動の影響が甚大で、サイクロンによる沿岸地域への被害は年々深刻化している。本件は野球というスポーツと環境保全の関連性を踏まえ、フィジー野球・ソフトボール協会（FIBSA)による植林活動および海岸の清掃活動を行い、同協会の少年少女の環境保全意識と防災意識の向上を目指すものである。また活動を通じて、環境問題解決を目指す人材育についても目的とする。

植林活動

【活動内容】

①環境教育活動：植林と清掃活動の意義、自然災害の状況と防災・減災等を講義。子ども向けの環境教育教材（簡単な冊子・英語版）を作成し、意見交換を行う。

②植林活動（マングローブ苗木の植林）③沿岸清掃活動

④持続可能な活動へ向けてのフィジー政府、マスコミ、JICA・大学との連携

⑤活動結果を纏めて公表（現地、日本でのセミナーの開催）

【活動状況】

海岸線清掃活動

2年目は、FIBSAとの協議、マングローブ植林、海岸線清掃活動、野球Baseball5交流、Raiwai地区ペットボトル処理活動視察、南太平洋大学との連携に関する意見交換等を実施し、財団の現地視察を受け入れた。次年度は清掃活動の定着化を目指し、RAIWAI地区における廃棄物管理も活動へ加える。また、貧困や薬物問題といった子供たちを取り巻く心身の健康問題の改善に野球・Baseball 5 がどのように貢献するか検証するとともに、自立性、持続発展性に向け、引き続きビジネス連携、大学連携、協力隊連携等の実現を追求